

I 体育祭

素晴らしい晴天に恵まれ、熱中症に配慮しながら、第36回体育祭を開催しました。

(1) 開会式にて

体育祭の開会式では、次に示すようなことを話しました。

- 皆さんは本日の体育祭に向けて、もっとできるんじゃないか、もっとこうすればよくなるんじゃないかと、何度も何度も練習を重ねてきました。
- その姿は、まさに校訓の一つである「錬達」：向上心をもち、自ら学ぶことのできる生徒 という目指す生徒像にふさわしい姿でした。
- さあ、今日が本番です。
- たくさんの観客の前で緊張して、失敗するかもしれない。でも、仲間が支え、助け、カバーしてくれます。
- 本日までご来場のご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、卒業生の皆様、朝早くからありがとうございます。本日は生徒の全力の競技や演技に対して暖かい声援、励ましの応援をどうぞよろしくお願いいたします。
- それでは、生徒の皆さん。「領域展開2026、青春の風を巻き起こせ」のスローガンにふさわしい体育祭をみんなで創り上げましょう。

(2) 閉会式にて

体育祭の閉会式では次のようなことを話しました。

- これまで「結果にこだわって取り組んでほしい」という話をしてきました。今日結果ができました。自分の胸に手を当ててどんな気持ちなのか考えてください。「嬉しい」とか「悔しい」「もっとこうすればよかった」などの感情は、結果にこだわって必死に取り組んだ人が味わえる感情だと思います。そして今日まで自分一人で取り組んだわけではありません。同じ組の人の顔を見てください。ライバルになった他の組の人を見てください。ライバルがいたからこそ、ここまで頑張ることができたのかもしれない。そして応援してくれた、ご来賓の方、保護者や卒業生を見てください。こんなにも皆さんを応援してくれる人がいます。ありがたいことです。
 - これから、皆さんは高総体、現場実習などに挑戦していきます。今回の体育祭のように向上心を持ち、自ら学ぶ姿を見せてくれることを期待しています。
 - 本日の体育祭はスローガンにあるように「青春の風を巻き起こした体育祭」だったと思います。
- 体育祭後に見せる生徒の姿を楽しみにしています。